

男女共同参画を進めよう!

「男は仕事、女は家庭」といった性別による役割の固定化は、男女差別を生む原因の一つと言われています。また、夫・パートナー等からの暴力や職場等におけるセクシュアル・ハラスメント、性犯罪などの『女性に対する暴力』も、男女差別から生まれる重大な人権侵害です。

女性も男性も、社会の対等な構成員です。男女共同参画を進め、女性に対する暴力がなくなる社会を実現しましょう。



DVは犯罪です

DV(ドメスティック・バイオレンス)とは、夫婦やパートナー間の暴力のことをいいます。殴る、蹴るといった身体的暴力だけでなく、精神的、性的暴力などもDVとされます。

社会的・経済的に優位に立つ男性が、弱い立場にある女性を暴力で支配しようとする行為は女性の人権を侵害する犯罪行為です。

どんな理由があっても、たとえ身近な間柄であっても、『暴力は犯罪である』ことを認識することが大切です。



パパ、どうしてママをぶつの…



小さな瞳にうつるのが、暴力をふるうあなたの姿だったら

夫や恋人からの暴力「ドメスティック・バイオレンス(DV)」その本当の恐ろしさを、あなたは考えたことがありますか？愛する父親の暴力が、どれだけ子どもたちのこころを傷つけているかを。暴力をふるったり、怒鳴ったりする姿が、どれだけ深い傷跡として残ってしまうかを。ドメスティック・バイオレンスを見たり聞いたりしている子どもたちは、毎日そのことばかりを考え、こころを痛めています。しかし、どんなに辛くても悲しくても、誰かに助けを求める、打ち明けようとはなかなかしません。なぜなら、子どもたちは、その小さな瞳で見た光景を、こころのなかに閉じ込めて、感情さえも殺してしまうから。独りではどうしようもないことなのに、たった独りで悩み苦しんでいます。家庭の中で繰り返される身体的、精神的、性的暴力 ドメスティック・バイオレンスは、子どもたちの心身に深刻な影響を与えます。決して許してはいけない犯罪です。

(提供：財団法人女性のためのアジア平和国民基金)

金沢市

STOP! ザ・セクハラ

セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)とは、相手の意に反した、相手が望まない性的な言葉やふるまいによって、一定の不利益を与えたいたり、環境を著しく悪化させることを言います。

セクハラは、男性が女性を対等なパートナーとしてではなく、性的な関心や欲求の対象として見ているため起こると考えられます。

セクハラは被害者となった女性の人権を侵害するものであり、許されない行為です。

